

こんしゅう とも
今週のことば「共にいる」

せいしょ ふくいんしょ
《聖書》マタイによる福音書 28:16-20

かみ 神のすまい

むかし ひと かみ き
昔の人たちは、神がどこにいるかと聞
かれると、ゆび うえ む てん
指を上に向けて、天にいと
こた むかし ひと わたし
答えました。昔の人たちは、私たちのよ
うに、うちゅう ひろ おも
宇宙がこんなに広いものとは思っ
ていませんでした。ちきゅう たい
地球は平らなもの
おも ち は い お
思っていましたし、地の果てに行くと落
ちてしまう かんが また ちきゅう
と考えていました。又、地面
した うえ そら
の下にはよみがあり、上には空があつて、
そこを たいよう つぎ い き
太陽や月が行ったり来たりしてい
ると かんが
考えていました。

うちゅう かんが も
このような宇宙の考えを持っていれば、
かみ てん かんが
神は天にいと かんが
考えてもおかしくありま
せん。わる ひと ち した お
悪い人は地の下のよみに落とされ、
ひと てん あ かみ い
よい人は天に上げられて、神のもとに行
くと かんが いま わたし
考えるようになりました。今の私
ちとは、ちが かんが も
だいが違った考えを持っていた
のです。

てん あ はな
イエスが天に上げられる話しは、イエ
かみ こ じゅうじか
スが神の子であり、十字架にかけられて

ころ かみ とも わたし
殺されても、神と共にいつもいて、私
み まも くだ こと しめ
ちを見守っていて下さる事を示していま
す。

とも かみ 共にいる神

せいしょ かみ な とな
聖書では、神の名をみだりに唱えては
しゅつ き おし
いけない（出エジプト記20:7）と教えら
れていますが、かみ おそ かた じんげん
神が恐れおおい方で人間
は ちか おも
とても近づけないものと思っていたか
らです。

しゅつ き しゅう かみ
しかし、出エジプト記3章では、神が
たみ つか
モーゼをイスラエルの民に遣わすにあた
かなら とも
って、『わたしは必ずあなたと共にいる
ほしゅう あた ほん
』（3:12）という保証を与えています。本
とう かみ まえ た こと じんげん
当は神の前に立つ事ができない人間も、
かみ た こと
神のいつくしみによって立つ事ができる
のです。

でし とも
イエスの弟子たちは『共にいる』とい
ことば ささ ざ せつ たちなお
う言葉に支えられて、挫折から立直り、
きょうかい あつ も かみ つか ひと
教会の集まりを持ち、神の使いとして人
びと こと つた わたし
々にイエスの事を伝えていきました。私
とも かみ ちから ふくいん
たちも共にいる神の力によって、福音の
あか ひと
証し人となれるのです。

しゅうてん しゅじつ ねん たきのしゅうざぶろう
昇天の主日A年（瀧野正三郎）